

新編現代の国語	単位数	2単位	学科・学年・学級	
---------	-----	-----	----------	--

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 使用教科書など

使用教科書	東京書籍「新編現代の国語」(現国 701)
副教材など	「新編現代の国語 学習課題ノート」(準拠ノート) / 「新総合図説国語」 / 「ジャンプアップ高校漢字問題集 改訂版」 / 「常用漢字の基本演習 改訂版」 / その他、D マークコンテンツ(教科書)、指導用 DVD-ROM 収録の補助資料など

3 評価の3観点と学習指導要領との対応

平成 30 年告示の学習指導要領では、評価の観点が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つとなった。

学習指導要領との対応は以下のとおりである。

- ・「知識・技能」：学習指導要領の〔知識及び技能〕について指導したことを評価する。
- ・「思考・判断・表現」：学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕について指導したことを評価する。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」：学習指導要領に直接該当する項目はないが、次の2つの側面を評価することが求められている。
 - ①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする側面。
 - ②①の粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする側面。

4 「年間指導計画例」の見方

本資料の各項目の概要は、以下のとおりです。

《薄いグレーの見出し》

- ・学期と各編の単元番号と名称，配当月を示した。

《領域・教材名・ページ数・配当時数》

- ・領域（話す・聞く／書く／読む），教材名，ページ数，配当時数を示した。

《学習指導要領との対応》

- ・学習指導要領の指導事項や言語活動例との対応を示した。

記号の意味

[知技] …… 「知識及び技能」の指導事項

[思判表] …… 「思考力，判断力，表現力等」の指導事項

⓪…………… 「思考力，判断力，表現力等」の言語活動例

《学習目標》

- ・附録「この教科書で学ぶこと」に掲載の学習目標を示した。

《学習活動例》

- ・配当時数の中で考えられる学習活動の例を示した。

記号の説明

*…………… 指導上の留意点や別案

D…………… D マークコンテンツの活用

《評価規準例》

- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点による評価規準例を示した。
- ・「知識・技能」の評価規準例は，各教材で育成を目指す資質・能力に該当する学習指導要領の〔知識及び技能〕の指導事項の文言をそのまま用いて，文末を「～している。」とした。
- ・「思考・判断・表現」の評価規準例は，各教材で育成を目指す資質・能力に該当する学習指導要領の〔思考力，判断力，表現力等〕の指導事項の文言をそのまま用いて，冒頭を「（領域名）において，」として領域を明示し，更に文末を「～している。」とした。
- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価規準例は，扱っている全ての指導事項について設定した。

・「主体的に学習に取り組む態度」は、次の4つの内容を全て含め、各教材の目標や学習内容等に応じて、その組み合わせを工夫しながら設定している。また、文末は「～しようとしている。」とした。

- ①粘り強さ〈積極的に、進んで、粘り強く等〉
- ②自らの学習の調整〈学習の見通しをもって、学習課題に沿って、今までの学習を生かして等〉
- ③他の2観点において重点とする内容（特に、粘り強さを発揮してほしい内容）
- ④当該単元の具体的な言語活動（自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動）

記号の意味

[知技] …… 「知識・技能」の評価規準例

[思判表] … 「思考・判断・表現」の評価規準例

[主] …… 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準例

◆年間指導計画例

領域・教材名 ページ数・配当時数	学習指導要領と の対応	学習目標	学習活動例 (*は指導上の留意点など)	評価規準例
■ 1 学期				
1 自己を見つめる (4月)				
読む こそそめスープ P 6 1 時間	[知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読む こと(1)ア, イ	・筆者独自の考え方を 読み取り, 人それぞれが持つ意識の 世界に思いをはせる。	<第1時> 1 筆者の思いの変化に注意しながら, 本文を通読する。 (手引き 1) 2 第一段での筆者の「こそそめスープ」への思いを理解 する。(手引き 2) 3 「こそそめスープのある世界」(九・4) は, 筆者に にとってどのようなものであるかを理解する。(手引き 3・4) 4 筆者の考える「自分の作りあげた異世界」(一〇・5) について理解する。(手引き 5) 5 第三段から, 筆者の人間に対する考え方を読み取る。 (手引き 6) 6 筆者と同じような勘違いをしていたことがないかを 考えて書き出し, 「思い込み」や「勘違い」の背景を 探る。また, 「本物のこそそめスープ」(一〇・14) と はどのようなものかを話し合う。(言語活動 1・2)	[知技] ・言葉には, 認識や思考を支える働きがあることを理解 している。 ・常用漢字の読みに慣れ, 主な常用漢字を書き, 文や文 章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必 要な語句の量を増すとともに, 語句や語彙の構造や特 色, 用法及び表記の仕方などを理解し, 話や文章の中 で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしてい る。 ・文, 話, 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方につ いて理解している。 [思判表] ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容 や構成, 論理の展開などについて叙述を基に的確に捉 え, 要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において, 目的に応じて, 文章や図表な どに含まれている情報を相互に関係付けながら, 内容 や書き手の意図を解釈したり, 文章の構成や論理の展 開などについて評価したりするとともに, 自分の考え を深めている。 [主] 進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し, 学習 課題に沿って自分の考えをまとめ, 話し合おうとして いる。

<p>読む ルリボシカミキリの青 P12 1時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読む こと(1)ア</p>	<p>・筆者の少年時代の 体験について書か れた文章を読み, 自 分に当てはめて考 える。</p>	<p><第1時> 1 本文を通読して, 内容を把握する。(手引き1) 2 筆者の熱中したことを表現に即して捉え, 理解する。 (手引き2) 3 「そんな気持ち」の内容を捉え, 「好きなことがある こと」がなぜ大切なのかを理解し, 筆者の主張を読み 取る。(手引き3・4) 4 「センス・オブ・ワンダー」の意味から, 筆者の「原 点」について理解し, 第三段の内容を捉える。(手引 き5) 5 本文の内容を踏まえて, 自分自身の興味や関心につ いて考え, スピーチをする。(言語活動)</p>	<p>[知技] ・言葉には, 認識や思考を支える働きがあることを理解 している。 ・常用漢字の読みに慣れ, 主な常用漢字を書き, 文や文 章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必 要な語句の量を増すとともに, 語句や語彙の構造や特 色, 用法及び表記の仕方などを理解し, 話や文章の中 で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしてい る。 ・文, 話, 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方につ いて理解している。 [思判表] 「読むこと」において, 文章の種類を踏まえ て, 内容や構成, 論理の展開などについて叙述を基に 的確に捉え, 要旨や要点を把握している。 [主] 粘り強く筆者の主張の要旨を捉え, 今までの学習 を生かして自分の興味・関心を確認し, 考えをまとめ, 伝えようとしている。</p>
<p>話す・聞く 気になるニュースにつ いて話そう P18 4時間</p>	<p>[知技] (1)イ [思判表] 話す こと・聞くこ と(1)ア, イ ⑤話すこと・聞 くこと(2)ア</p>	<p>・情報を整理し, 内容 や構成に注意して 話す。</p>	<p><第1時> 1 「学習の流れ」を読み, 活動のポイントの見通しを持 つ。 2 実社会のニュースから伝えたい話題を決める。話題 は, 「課題」(P22) に示されているように, 「好きな こと」「好きなもの」に関するものか, 「最近気になる こと」に関するものを選ぶ。 3 複数のメディアから話題についての情報を収集する。 <第2時> 1 収集した情報を整理し, 発表の構成を考えて発表メモ を作る。「発表メモの例」を参考にして, 事実と自分 の意見を区別してまとめる。</p>	<p>[知技] 話し言葉と書き言葉の特徴や役割, 表現の特色 を踏まえ, 正確さ, 分かりやすさ, 適切さ, 敬意と親 しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し, 使っている。 [思判表] ・「話すこと・聞くこと」において, 目的や場に応じて, 実社会の中から適切な話題を決め, 様々な観点から情 報を収集, 整理して, 伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において, 自分の考えが的確 に伝わるよう, 自分の立場や考えを明確にするととも に, 相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど, 話の構成や展開を工夫している。 [主] 積極的に情報の収集や整理を行い, 学習課題に沿</p>

			<p>2 「話し方のポイント」を参考に、発表の練習をする。</p> <p><第3時></p> <p>1 「班の中でニュースを伝え合う例」を参考に、司会などの役割を決め、班の中でニュースを伝え合う。</p> <p>2 聞き手は「聞き方のポイント」をもとに、メモを取りながら聞き、疑問点や詳しく知りたい点を質問して理解を深める。</p> <p><第4時></p> <p>1 同じ班の人から聞いたニュースを、別の班の人に伝える。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>* Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>って理解しやすい内容構成や展開を工夫して、自分の考えを発表し、論ずる活動をしようとしている。</p>
2 他者に出会う（5～6月）				
<p>読む</p> <p>未来をつくる想像力</p> <p>P24</p> <p>▼考えよう</p> <p>……メディアとの付き合い方</p> <p>P31</p> <p>2時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ, オ</p> <p>[思判表] 読むこと(1)ア</p> <p>[知技] (2)エ</p> <p>[思判表] 読むこと(1)イ</p>	<p>・情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。</p> <p>・さまざまなメディアの特長を知り、受信者としても送信者としても適切な判断のもと、使い分ける。</p>	<p><第1時></p> <p>1 本文を通読して、内容を把握する。(手引き1)</p> <p>2 「イメージの貧困」がなぜ起きるかを理解する。(手引き2)</p> <p>3 「イメージの共有」がなぜ個人の単独性を失わせるのかを理解する。(手引き3)</p> <p>4 筆者の考える「社会」とはどのようなものか理解する。(手引き4)</p> <p><第2時></p> <p>1 「空白の時間」をつくることの意義について理解する。(手引き5)</p> <p>2 本文の内容を踏まえて、実際の生活やメディアの特長について考え、話し合う。(言語活動)(考えよう……</p>	<p>[知技]</p> <p>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。</p>

			メディアとの付き合い方)	<p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 <p>[主] 粘り強く筆者の考える「想像力」を理解し、学習課題に沿って実際の生活を見直し、情報社会における自己の在り方について考えを深め、話し合おうとしている。</p>
<p>読む 水の東西</p> <p>P 33</p> <p>■ 評論の読み方</p> <p>P 39</p> <p>◆ やってみよう ……文章の要旨をまとめ てみよう</p> <p>P 43 2 時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ, オ</p> <p>[思判表] 読む こと(1)ア</p> <p>[知技] (1)ア, オ, カ / (2)ア</p> <p>[思判表] 読む こと(1)ア</p> <p>[知技] (1)ア, オ, カ / (2)イ</p> <p>[思判表] 読む こと(1)ア</p> <p>④ 読むこと(2) ア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。 ・評論の書かれ方を理解し、読み方を知る。 ・要旨をまとめ、文章の要点を把握する。 	<p><第1時></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「鹿おどし」と「噴水」の違いに着目して全文を通読する。(手引き1) 2 本文が、日本と西洋の具体例を挙げ、分かりやすい文章となっていることを理解し、対比を通して論じていることを押さえる。(評論の読み方) 3 「鹿おどし」の具体的な動きと、「鹿おどし」を見て筆者が感じ取ったことを表現に即して読み取る。(手引き2-1) 4 「鹿おどし」に対するニューヨークの人々の反応と西洋の噴水の様子を表現に即して読み取る。 <p><第2時></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日本人が噴水を作らなかった理由をつかみ、「鹿おどし」(日本人)と「噴水」(西洋人)の水に対する捉え方の違いを理解する。(手引き3-1) 2 水に対する日本人の感性を筆者の考え方に沿って捉え、日本人の感性の特質と「鹿おどし」の関係を理解 	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すと同時に、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。

			<p>する。(手引き 2-2・3-2・4)</p> <p>3 文章の内容を的確に捉えるために「やってみよう……文章の要旨をまとめてみよう」を通読する。(やってみよう……文章の要旨をまとめてみよう)</p> <p>4 日本文化について興味や関心を持ったことを、二分程度でスピーチする。(言語活動)</p>	<p>[思判表] 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>[主] 比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。</p>
<p>書く</p> <p>集めた情報の内容を検討して意見文を書こう</p> <p>P44</p> <p>8時間</p>	<p>[知技] (1)ウ, オ / (2)ア</p> <p>[思判表] 書くこと(1)ア, イ</p> <p>⑧ 書くこと(2)ア</p>	<p>・情報を集めて検討し、構成を工夫して意見文を書く。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 「課題」(P48)の中から一つを選び、身近な社会生活や、新聞・テレビのニュースなどから、興味・関心のあることをメモに書き出し、テーマを決める。</p> <p><第2時></p> <p>1 自分の決めたテーマに沿って、自分の経験を振り返ったり、人から話を聞いたり、実際に現地を観察したりして、関連する情報を集める。</p> <p>2 「情報メモの例」を参考に、集めた情報をメモにまとめる。</p> <p><第3時></p> <p>1 集めた情報の内容について、意見文に使えるものかどうか、詳しく検討する。</p> <p>2 情報をさまざまな角度から吟味したうえで、意見文に使う情報を選択する。</p> <p><第4・5時></p> <p>1 「意見メモの例」を参考に、選択した情報と自分の意見をメモにまとめる。</p> <p>2 文章の構成を考え、序論・本論・結論の三段型などで構成メモを作る。</p> <p><第6・7時></p> <p>1 構成メモをもとに、意見文を書く。「読みやすい文章</p>	<p>[知技]</p> <p>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。</p> <p>[主] 積極的にさまざまな課題に興味や関心を持ち、選んだテーマに関連する情報を集め、学習の見通しをもって情報の妥当性を吟味しながら、自分の意見を明確にし、意見文を書く活動をしようとしている。</p>

			<p>表現のポイント」に留意して、分かりやすい文章表現を心がける。</p> <p>2 書いた文章を読み返して、「推敲の観点」をもとに推敲をする。</p> <p><第8時></p> <p>1 推敲した文章を清書する。班の中で互いの意見文を読み合い、文章構成や表現の仕方について意見交流を図る。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>* Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	
3 言葉と生活 1 (7月)				
<p>話す・聞く 分かりやすい説明をしよう</p> <p>P50 4時間</p>	<p>[知技] (1)イ, エ [思判表] 話すこと・聞くこと(1)イ, ウ ④話すこと・聞くこと(2)イ</p>	<p>・目的や相手に合った分かりやすい説明をする。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 『夏休みをどのように過ごしたか』の説明」A・Bを比べる活動を通して、「分かりにくい説明」と「分かりやすい説明」の違いを考える。</p> <p><第2時></p> <p>1 「目的意識」「論理性」「相手意識」の三つの観点から「分かりやすい説明」のポイントを理解する。</p> <p>2 「自分の学校の行事を説明する」という設定で、「説明内容を整理する手順」に従って、「リストアップ」「カテゴライズ」「ナンバリング」の順に説明内容を整理する。</p> <p><第3時></p> <p>1 整理した「自分の学校の行事」について、3人程度の</p>	<p>[知技]</p> <p>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。</p> <p>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を</p>

			<p>グループに分かれてロールプレー(役割演技)を行う。 「ロールプレーの仕方の例」を参考に交代で行い、聞き手役は相互評価表を書く。</p> <p>2グループでの説明を振り返り、相互評価表などをもとに評価点、改善点などを話し合う。</p> <p><第4時></p> <p>1 「課題」(P54)の中から一つを選び、これまで学習した手順に従って、課題に即したロールプレーを行う。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>*Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。</p> <p>[主]積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。</p>
<p>読む 異なる種類の文章を読み比べよう</p> <p>P 56</p> <p>▼考えよう ……グラフや写真の読み取り方</p> <p>P 63 2時間</p>	<p>[知技] (1)ア, オ / (2)ア [思判表] 読むこと(1)ア, イ (活) 読むこと(2)イ</p> <p>[知技] (2)イ [思判表] 読むこと(1)イ (活) 読むこと(2)イ</p>	<p>・複数の文章を読み比べ、自分の考えを深める。</p> <p>・図表や画像から必要な情報を読み取る。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 論理的な文章の種類を知り、複数の文章を比較する際の「読み比べのポイント」を理解する。</p> <p>3 図表や画像を読み取る観点を理解する。(考えよう……グラフや写真の読み取り方)</p> <p><第2時></p> <p>1 「課題」(P62)の中から一つを選び、複数の文章について読み取ったことを表に整理する。</p> <p>2 表に整理した内容と、それに対する自分の考えを発表し合う。</p> <p>3 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展

			* D この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 [主] 進んで複数の文章を読み比べることを理解し、学習課題に沿って異なる種類の文章の書き手の意図を解釈し、自分の考えを深め、発表しようとしている。
--	--	--	--	--

■ 2学期

4 視野を広げる（9月）

<p>読む スキマが育む都市の緑と生命のつながり P68 1時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読むこと(1)ア, イ</p>	<p>・身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解する。</p>	<p><第1時> 1 接続語と段落構成に注目しながら、本文を通読する。(手引き1) 2 植物の生長の特性を捉え、都市部においてスキマの植物が豊富な理由をまとめる。(手引き2) 3 「都市部のスキマ」と「都市部の公園」の違いを、生態系に果たす役割という観点を押さえながら読み取り、整理する。(手引き3・4) 4 「都市部の緑の在り方」についての筆者の主張を読み取り、まとめる。(手引き5・6)</p>	<p>[知技] ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 [主] 粘り強く都市部の緑の在り方を述べた筆者の主張を理解し、学習課題に沿って生態系という新しい視点</p>
--	---	---	---	---

				と資料との関連性を捉えながら自分の考えを深めようとしている。
読む 無彩の色 P78 1時間	[知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読む こと(1)ア ④読むこと(2) イ	・色について論じた 文章を, 具体例の役 割を押さえながら 読み, 筆者の価値観 と主張をつかむ。	<第1時> 1 取り上げられている具体例を押さえながら, 本文を通 読する。(手引き1) 2 灰色に対する一般的なイメージと特性を把握して, ま とめる。(手引き2・3) 3 白黒写真の具体例から, 灰色に対する筆者の評価とそ の理由を読み取る。(手引き4) 4 筆者の主張を踏まえて, カラー写真と白黒写真を比較 して気づいたことを話し合う。(言語活動) 5 筆者の主張する灰色についての日本文化の特色を, 伝 統色を確認しながら理解する。(手引き5)	[知技] ・言葉には, 認識や思考を支える働きがあることを理解 している。 ・常用漢字の読みに慣れ, 主な常用漢字を書き, 文や文 章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必 要な語句の量を増すとともに, 語句や語彙の構造や特 色, 用法及び表記の仕方などを理解し, 話や文章の中 で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしてい る。 ・文, 話, 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方につ いて理解している。 [思判表] 「読むこと」において, 文章の種類を踏まえ て, 内容や構成, 論理の展開などについて叙述を基に 的確に捉え, 要旨や要点を把握している。 [主] 進んで筆者の「灰色」に対する価値観や主張を理 解し, 学習課題に沿って色彩に対する自分の考えを深 め, 発表しようとしている。
話す・聞く 情報を整理しながら話 し合おう P87 3時間	[知技] (2)エ [思判表] 話す こと・聞くこ と(1)エ, オ ④話すこと・聞 くこと(2)ウ	・話し合いの進め方 を工夫し, 考えを深 める。	<第1時> 1 「学習の流れ」を読み, 活動のポイントの見通しを持 つ。 2 話し合いには種類があることを理解し, 「S高校の生 物部」の話し合いの例を参考に, 「企画会議」の進め 方を確認する。 3 「課題」(P92)の中から一つを選び, グループに分 かれて司会や記録係などの役割を分担し, 話し合いの 目的と, 必要とする事前準備を確認のうえ, 次時まで に必要なアイディア案などを考えてくる。	[知技] 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理 解を深め使っている。 [思判表] ・「話すこと・聞くこと」において, 論理の展開を予想 しながら聞き, 話の内容や構成, 論理の展開, 表現の 仕方を評価するとともに, 聞き取った情報を整理して 自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「話すこと・聞くこと」において, 論点を共有し, 考 えを広げたり深めたりしながら, 話し合いの目的, 種 類, 状況に応じて, 表現や進行など話し合いの仕方や

			<p><第2時></p> <p>1 グループで、各自のアイデア案の概要を確かめるとともに、時間配分などの話し合いの進め方を確認する。</p> <p>2 提案者が各案を説明し、質疑応答をしながら検討事項を表に整理し、話し合う。</p> <p>3 話し合いの結果、決まったことや今後の課題を整理し、確認する。</p> <p><第3時></p> <p>1 前時の話し合いについて、「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>2 グループごとに、話し合いの結果をクラス全体に発表し、成果と課題を共有する。</p> <p>*Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>結論の出し方を工夫している。</p> <p>[主]積極的に「企画会議」の進め方に沿って論点を共有し、学習の見通しをもって提案内容を整理しながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫しようとしている。</p>
5 社会と関わる（9～10月）				
<p>読む 鍋洗いの日々</p> <p>P94 1時間</p>	<p>[知技] (1)ア、ウ、エ、オ</p> <p>[思判表] 読むこと(1)ア</p>	<p>・自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。</p>	<p><第1時></p> <p>1 筆者の調理場での体験と必死の行動に注目し、その結果周囲がどのように変化したかを確認しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 筆者の「思わく」や培った経験からの自負と、筆者が勤めたホテルの調理場の現実や職場環境をまとめ、現実の厳しさを知った筆者の心情を理解する。(手引き2・3-1・3-2)</p> <p>3 筆者の必死の行動とは何かを理解し、それによって先輩の料理人たちがどのように変化したかを読み取り、まとめる。(手引き3-3・4)</p> <p>4 今までに調べたり、話を聞いたりしたことのある職業について、仕事の苦労や喜びの体験談を発表する。(言</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 <p>[思判表] 「読むこと」において、文章の種類を踏まえ</p>

			語活動)	て、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に 的確に捉え、要旨や要点を把握している。 [主]進んで筆者の体験談から筆者の仕事に対する思い を理解し、今までの学習を生かして職業について見聞 きしたことを発表しようとしている。
読む 森で染める人 P100 2時間	[知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読む こと(1)ア, イ	・自然や社会の中で 生きる意味を考え ながら働く筆者の 思いに触れ、働く ということについて 考える。	<第1時> 1 筆者の仕事や生活の変化に着目しながら、全文を通読 する。(手引き1) 2 山で暮らす筆者が、草木染めを通して感じた自然への 思いを捉える。(手引き2) <第2時> 1 都会で暮らしていた筆者が覚えた違和感と、山での暮 らして得た実感を読み取る。(手引き3) 2 自然の循環の中で物を作ることへの筆者の思いを捉 える。(手引き4) 3 筆者の思いを踏まえたうえで、仕事や生活に対する姿 勢について、考えたことを発表する。(言語活動)	[知技] ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解 している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文 章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必 要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特 色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中 で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしてい る。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方につ いて理解している。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容 や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉 え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表な どに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容 や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展 開などについて評価したりするとともに、自分の考え を深めている。 [主]粘り強く筆者の自然と融合した生き方に対する思 いを理解し、学習課題に沿って自然や社会での仕事や 生活について自分の考えを深め、発表しようとしてい る。

<p>読む 真夏のひしこ漁 P110</p> <p>ブックガイド 働くとは？ P122 1時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読むこと(1)ア</p> <p>[知技] (3)ア [思判表] 読むこと(1)イ</p>	<p>・海での漁の様子を伝える文章を読み、自然の中での労働について理解を深める。</p> <p>・読書を通じて将来の職業や働き方を考える。</p>	<p><第1時></p> <p>1 ひしこ漁の様子や筆者が描く情景に注目しながら、全文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 自然を相手にする漁師の困難さを読み取り、父と弟の息の合ったひしこ漁の様子を、順を追ってまとめる。(手引き2・3)</p> <p>3 狙った漁場が当たり、市場へと急ぐ父の漁師としての思いや、弟の漁船に乗った筆者が感じた思いを捉える。(手引き4・5)</p> <p>4 さまざまな職種を取り上げた本を読み、働くことの意義や仕事のやりがいについて捉える。(ブックガイド 働くとは?)</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 <p>[主] 積極的に漁をする父や弟の様子を通して自然や漁師について感じた筆者の思いを理解し、今までの学習を生かして読書を通して働く苦勞や喜び、仕事のやりがいについて学ぼうとしている。</p>
<p>書く 憧れの職業について調べ、整理してまとめよう</p>	<p>[知技] (1)ウ, オ [思判表] 書くこと(1)ア, イ ④ 書くこと(2)</p>	<p>・調べたことを整理して、考えたことを分かりやすくまとめる。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方につ

<p>P 116 7 時間</p>	<p>ウ</p>	<p>2 「憧れの職業」について調べ、整理してまとめるまでの例を参考に、自分の希望を人に伝えるための文章の書き方を確認する。</p> <p>3 「課題」(P 121)の中から一つを選び、興味のある対象(職業または国)をいくつか挙げ、インターネットや辞書、事典等で基本的な情報を調べる。</p> <p><第 2 時></p> <p>1 集めた基本的な情報をもとに、自分の経験や個性も踏まえ、候補に挙げた対象について比較して選択肢を絞る。</p> <p>2 自分がその対象を選んだ理由などを書き出す。</p> <p><第 3・4 時></p> <p>1 選んだ対象について、実際に経験した人の話や、関係する書物など、詳しい情報を集める。</p> <p><第 5・6 時></p> <p>1 集めた情報を取捨選択し、読み手に自分の考えが伝わりやすくなるよう、書くための材料を決める。</p> <p>2 説得力のある文章になるよう構成を決め、大まかな字数の配分を考える。</p> <p>3 構成に沿って文章を書き、推敲をする。</p> <p><第 7 時></p> <p>1 推敲した文章を清書する。班の中で互いの文章を読み合い、文章の内容や構成について意見交流を図る。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>* Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>いて理解している。</p> <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 <p>[主] 粘り強く自分の興味・関心のある対象について調べ、集めた情報の妥当性を検討しながら、学習の見通しをもって読み手の理解が得られるよう文章の構成や展開を工夫して書こうとしている。</p>
<p>6 言葉と生活 2 (11~12 月)</p>			

<p>話す・聞く 発想を広げる方法を使 って話し合おう P 124</p> <p>◆考えよう ……相手に応じた言葉の 選び方 P 138 4 時間</p>	<p>[知技] (2)イ [思判表] 話す こと・聞くこ と(1)ア, オ ㊦話すこと・聞 くこと(2)ウ</p> <p>[知技] (1)イ [思判表] 話す こと・聞くこ と(1)イ, ウ</p>	<p>・発想を広げてアイ ディアを整理し,ま とめる。</p> <p>・相手意識を持って 言葉を選ぶ。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「学習の流れ」を読み,活動のポイントの見通しを持 つ。</p> <p>2 思考・発想を広げる方法について,「思考ツール・発 想の方法」(P194)を参考にして確認する。更に,「ブ レインストーミング」と「カードによるグルーピング」 を使った活動の例を参考に,学習の進め方を理解す る。</p> <p>3 「課題」(P129)の中から一つを選び,思考・発想を 広げる方法として何を使うかを決める。ただし,以下 では「ブレインストーミング」と「カードによるグル ーピング」を使った発表活動を例として取り上げる。</p> <p>4 どのような題材について話し合うか,各自で題材案を 考えたうえ,グループで検討し,題材を決める。</p> <p><第2時></p> <p>1 前時で決めた題材についてブレインストーミングを 行うために,「ブレインストーミングのルール」を確 認し,『(1)出す・広げる』の例』を参考に話し合いの 具体的なイメージを持つ。</p> <p>2 思いつくまま題材についてのアイデアを出し合う。 出されたアイデアは,その場で付箋に書き,台紙に 貼っていく。</p> <p><第3時></p> <p>1 前時に貼り付けた付箋について,類似性や共通項に注 目し,「グルーピングの観点の例」などを参考に分類・ 整理する。</p> <p>2 グループ分けした付箋にタイトルを付け,「関係付け る視点の例」を参考に,相互の関係性が分かるように 矢印などを書いて台紙に配置する。</p> <p>3 グルーピングの結果を踏まえ,「発表の構成例」を参 考に,五分程度のスピーチとしてまとめる。</p>	<p>[知技]</p> <p>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割,表現の特色を踏ま え,正確さ,分かりやすさ,適切さ,敬意と親しさな どに配慮した表現や言葉遣いについて理解し,使っ ている。</p> <p>・個別の情報と一般化された情報との関係について理 解している。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において,目的や場に応じて, 実社会の中から適切な話題を決め,様々な観点から情 報を収集,整理して,伝え合う内容を検討している。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において,自分の考えが的確 に伝わるよう,自分の立場や考えを明確にするととも に,相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど, 話の構成や展開を工夫している。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において,話し言葉の特徴を 踏まえて話したり,場の状況に応じて資料や機器を効 果的に用いたりするなど,相手の理解が得られるよう に表現を工夫している。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において,論点を共有し,考 えを広げたり深めたりしながら,話し合いの目的,種 類,状況に応じて,表現や進行など話し合いの仕方 や結論の出し方を工夫している。</p> <p>[主] 進んで話し合いの題材を考え,学習課題に沿って 発想を広げる話し合いをしながら自分の考えを広げ, 場に応じた言葉遣いをしようとしている。</p>
---	---	---	---	---

			<p><第4時></p> <p>1 各グループの話し合いの成果を発表し合い、クラス全体で共有する。グループでの話し合いのときと、クラスの前で発表するときなど、話す相手や場の状況に応じた言葉遣いの違いに注意する。(考えよう…相手に応じた言葉の選び方)</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>* Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	
<p>書く 新聞記事を読んで意見文を書こう</p> <p>P130</p> <p>●グループで問い作りに挑戦</p> <p>P136 8時間</p>	<p>[知技] (1)ウ, オ / (2)オ [思判表] 書くこと(1)ウ ㊦ 書くこと(2)ア</p> <p>[知技] (1)ア, カ [思判表] 書くこと(1)ア</p>	<p>・記事の読み取りを踏まえ、根拠を明確にして意見をまとめる。</p> <p>・問いを作って絞り込み、書くための題材を見つける。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 「ゲーム依存」について書かれた新聞記事を、「要点を押さえて新聞記事を読む」にある五つの観点を意識して通読する。</p> <p>3 見出しに注目して記事の内容を要約し、問題の本質を理解する。</p> <p>4 「ゲーム依存」の新聞記事を読んで意見文を書いた例を参考に、意見文の書き方を確認する。</p> <p><第2・3時></p> <p>1 「課題」(P135)の中から一つをテーマとして選ぶ。</p> <p>2 選んだテーマに関する新聞記事を探して読む。グループで共通の記事を選ぶとよい。</p> <p>3 選んだ記事について、見出しに注目して内容を要約し、問題の本質を理解する。</p> <p><第4・5時></p> <p>1 読み取ったことをもとに意見文の内容を考える。</p> <p>2 「グループで問い作りに挑戦」を読み、「QFT」の</p>	<p>[知技]</p> <p>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。</p> <p>・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるときともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。</p>

			<p>やり方を確認し、問い作りをする。(グループで問い作りに挑戦)</p> <p>3 問いに対する意見を考え、意見文に取り入れることを検討する。</p> <p><第6・7時></p> <p>1 構成を考えて意見文を書く。その際、記事の引用の仕方や出典の示し方に注意する。</p> <p>2 書いた文章を読み返し、推敲する。</p> <p><第8時></p> <p>1 推敲した文章を清書する。グループごとに互いの意見文を読み合い、根拠の示し方や表現の仕方などについて意見交流を図る。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>* D この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>[主] 積極的に新聞記事を読んで問題の本質を捉え、学習の見通しをもって根拠と自分の考えのつながりを明確にし、意見文を書く活動をしようとしている。</p>
--	--	--	--	--

■ 3 学期

7 世界とつながる (1～2月)

<p>読む 美しさの発見</p> <p>P142 2 時間</p>	<p>[知技](1)ア, ウ, エ, オ</p> <p>[思判表]読むこと(1)ア, イ</p>	<p>・「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する。</p>	<p><第1時></p> <p>1 取り上げられている具体例に注意しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 第一段から「発明」と「発見」に関わる語句や表現を抜き出し、ここでのそれぞれの意味を明らかにする。</p> <p>3 コロンブスやキュリー夫人の「発見」と芭蕉やセザンヌの「発見」の違いを考え、それぞれの意味を明らかにする。(手引き2)</p> <p><第2時></p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。
---	--	---	---	--

			<p>1 少年龍之介を叱った先生が捉えている「美しさ」と少年龍之介が捉えている「美しさ」を読み取る。(手引き3・4)</p> <p>2 「同じ一つの心の働き」について考え、「『美しさ』を知る」ために必要なことを話し合う。(言語活動)</p> <p>3 この文章で筆者は、「美しさの発見」とはどのようなものであると述べているか、考えを述べ合う。(手引き5)</p>	<p>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</p> <p>[主] 粘り強く取り上げられた具体例の展開に注目しながら、筆者の「美しさの発見」についての価値観や主張を理解し、今までの学習を生かして「美しさ」を知るために必要な感受性の養い方について自分の考えを深め、話し合おうとしている。</p>
<p>読む りんごのほっぺ P150 1時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読むこと(1)ア</p>	<p>・出来事の順序に着目しながら、戦時下の人々の状況と、作品に一貫する筆者の思いを読み取る。</p>	<p><第1時></p> <p>1 四つの部分に書かれている事柄を要約し、出来事の順序に注意しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 「T君」と「私」との関わりや、「私」の「T君」への思いを整理する。(手引き2)</p> <p>3 「T君」の両親に直面した時、および朗読劇に参加した時の「私」の心情を表現に即して捉え、説明する。(手引き3・4)</p> <p>4 題名にこめられた筆者の思いについて考えたことをまとめる。(手引き5)</p> <p>5 戦争体験を語り継いでいくことの意義について話し合う。(言語活動)</p>	<p>[知技]</p> <p>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すと同時に、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>[思判表] 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p>

				<p>[主] 粘り強く過去から現在の出来事に至る内容と、作品中の筆者の思いを理解し、学習課題に沿って戦争体験を語り継ぐ意義を考え、話し合おうとしている。</p>
<p>書く 読み手のアドバイスを 生かして紹介文を書こう</p> <p>P159 7時間</p>	<p>[知技] (1)ウ, オ [思判表] 書くこと(1)エ ㊦ 書くこと(2) イ</p>	<p>・助言をもとに推敲して、よりよい文章に仕上げる。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 「自分の学校」について情報を集めて紹介文を書いた例を参考に、学習の進め方を理解する。</p> <p>3 「課題」(P164) から一つを選び、紹介する対象を決める。</p> <p>4 紹介する対象について、集めたい情報を書き出したうえで、情報の収集方法を考える。</p> <p><第2・3時></p> <p>1 資料を調べたり、アンケートを取って結果を集約したりして、情報を収集する。</p> <p>2 集めた情報を取捨選択し、紹介文に使用する情報を選び出す。不足している情報があれば、更に調べて補う。</p> <p><第4・5時></p> <p>1 文章の構成を考え、序論・本論・結論の三段型などで構成メモを作る。</p> <p>2 構成に沿って、紹介文を書く。</p> <p><第6時></p> <p>1 書いた文章を、数人で互いに読み合い、意見交換を行う。その際、「評価表の項目の例」を参考に評価表を作り、良い点や改善点を助言し合うようにする。</p> <p><第7時></p> <p>1 読み手の助言をもとに、文章を推敲し、清書する。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p>	<p>[知技]</p> <p>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>[思判表] 「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。</p> <p>[主] 積極的に紹介文に必要な情報を収集し、学習の見通しをもって情報を取捨選択し、読み手の助言をもとに、よりよい文章を書こうとしている。</p>

			* D この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	
8 未来に目を向ける（2～3月）				
<p>読む 不思議な拍手 P 166</p> <p>◆考えよう ……推論の仕方 P 176 2時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読むこと(1)ア, イ</p> <p>[知技] (2)ア, ウ [思判表] 読むこと(1)ア, イ</p>	<p>・人間の心・意識について体験を踏まえつつ考察する文章を読み、人間への認識を深める。</p> <p>・推論の仕方を理解し、日常で使えるようになる。</p>	<p><第1時></p> <p>1 出来事に即し、筆者はどのように考えを進めているかに注意して、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 カワカベさんの「拍手」について、筆者が感じたり推測したりしたことを読み取り、まとめる。(手引き2・3)</p> <p>3 この拍手について、筆者が捉えようとしていることを理解する。(手引き4)</p> <p><第2時></p> <p>1 推論には「演繹」と「推測」があり、その違いや、論理的な文章について理解を深める。(考えよう……推論の仕方)</p> <p>2 推測したことを前提に考えを進めたとき、カワカベさんの「拍手」について、筆者が新たに感じ、考えたことを読み取り、まとめる。(手引き5・6)</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・推論の仕方を理解し使っている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 <p>[主] 積極的に場面の様子を捉え、学習課題に沿って考えの進め方を整理し、本文中に挙げられている実験から、筆者が推測していることを理解しようとしてい</p>

<p>読む 真の自立とは</p> <p>P179 1時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読むこと(1)ア ⑤ 読むこと(2)ア</p>	<p>・「自立」の在り方について考察する文章を読み, 自分の考えを持ち, 視野を広げる。</p>	<p><第1時></p> <p>1 二つの意味段落の内容を押さえながら, 本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 現代社会における「できる」「できない」の構造と, それが人生に及ぼしている影響について読み取り, まとめる。(手引き2・3)</p> <p>3 筆者の主張する「自立」について, 現代社会で混同して使われている「独立」という言葉との違いも踏まえて読み取り, まとめる。(手引き4・5)</p> <p>4 現代における「古い」や『『大人』になること』について, 筆者の言う「自立」という観点から考え, 話し合う。(手引き6)</p> <p>5 「私たちが…真の自立を身につけていくことではないでしょうか。」という筆者の問いかけについて, 考えたことを六百字程度の文章にまとめる。(言語活動)</p>	<p>る。</p> <p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には, 認識や思考を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読みに慣れ, 主な常用漢字を書き, 文や文章の中で使っている。 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに, 語句や語彙の構造や特色, 用法及び表記の仕方などを理解し, 話や文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 文, 話, 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 <p>[思判表] 「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え, 要旨や要点を把握している。</p> <p>[主] 積極的に現代の状況に関心を持ち, 筆者が述べる内容を理解し, 自分の考えを深め, 今までの学習を生かして「自立」という観点から他者と話し合いをしたうえで, 自分の考えをまとめようとしている。</p>
<p>話す・聞く 資料を活用して発表しよう</p> <p>P188 5時間</p>	<p>[知技] (1)イ, オ [思判表] 話すこと・聞くこと(1)ウ, エ ⑤ 話すこと・聞くこと(2)エ</p>	<p>・発表の仕方や, 話の聞き方を工夫する。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「学習の流れ」を読み, 活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 「さまざまな発表の形式」を参考に, さまざまな発表の形式について確認する。</p> <p>3 「課題」(P192)の中から発表の形式の一つを選ぶ。ただし, 以下では「ポスターセッション」による発表活動を例として取り上げる。</p> <p>4 グループごとに, 取り上げるテーマを設定する。</p> <p><第2・3時></p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴や役割, 表現の特色を踏まえ, 正確さ, 分かりやすさ, 適切さ, 敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し, 使っている。 文, 話, 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において, 話し言葉の特徴を踏まえて話したり, 場の状況に応じて資料や機器を効

			<p>1 前時に設定したテーマについて、調べる切り口と内容を絞り込み、調査を行う。</p> <p>2 調査内容を模造紙などにまとめ、ポスターを作成する。その際、伝えたいことを明確に表現できるよう、タイトルの付け方や、記事・図表の配置などを工夫する。</p> <p><第4・5時></p> <p>1 「発表の構成例」を参考に、発表時間を5分として、発表する内容と時間配分を考える。</p> <p>2 グループごとに発表を行う。</p> <p>3 発表の後、質疑応答の時間を2分程度設ける。聞き手は、「聞き方のポイント」を参考に、積極的な意見交換ができるようにする。</p> <p>4 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>* Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>[主] 進んで分かりやすい発表活動の準備に取り組み、学習課題に沿って聞き手が理解しやすいように発表を行おうとするとともに、他のグループの発表をしっかり聞いて理解を深めようとしている。</p>
--	--	--	--	--